

2025年度久留米大学学校推薦型選抜 A 日程『出題の意図』

日 程	11 月 16 日	科目名	国語	問題番号	問題 1
<p>課題文となる資料 1 は、柄谷行人『〈戦前〉の思想』（講談社学術文庫、2001 年 3 月）所収の「文字論」である。柄谷行人は、2022 年に哲学のノーベル賞とも言われる「バーグルエン賞」を受賞した、現代日本を代表する哲学者・文芸批評家であり、その文章の多くに現在の学術や思想の基盤となる発想が織り込まれている。課題文は、もとは講演であるため比較的わかりやすく読みやすい文章ながら、その内に高度な内容を含んだものとなっている。</p> <p>設問(1) 傍線部(1)「言文一致」と傍線部(2)「古代の書き言葉」について、本文で説明される両者の共通点を 200 字以内でまとめなさい。</p> <p>課題文の要点は、現代の常識や考え方をそのまま過去に拡張することで誤った理解が生じるというものであり、そのことが「言文一致」と「古代の書き言葉」を例に述べられている。本設問は、課題文の趣旨を的確に読み取った上で、それぞれの事例の要点を見抜く読解力と、その内容を一定の文字数にまとめる表現力を問うことを目的としている。</p> <p>設問(2) 本文の内容とは関係なく、自らの持つ常識や価値観を前提にして考えたために誤りや誤解が生じたということについて、あなたが経験したことや思いつくことを 200 字以内で記しなさい。</p> <p>自由記述によって、該当テキストの内容から自己の類似経験等を導く発想力・類推力、それらを他者に分かりやすく理解させる表現力・構成力および国語の基本的な表記ルールを問うことを目的としている。</p>					

2025年度久留米大学学校推薦型選抜 A 日程『出題の意図』

日 程	11 月 16 日	科目名	英語	問題番号	問題 2
<p>問題 2 400 字程度の英文を読み、問いに答える問題。</p> <p>(1) (2)</p> <p>英文の中の下線部分を和訳する問題。英和・和英辞書持ち込み可なので、辞書を適切に使い、知らない英単語の意味を調べることができ、英文の構造を正しく理解しているか、を問う。</p> <p>(3)</p> <p>英文の内容を説明している 8 つの選択肢から、あてはまらないものを 4 つ選ぶ問題。</p> <p>英文の読解力と、それを適切に表現していることがわかるかどうか、を問う。</p>					